

令和5年度第1回運営協議会 議事録

日 時：令和5年5月15日(月) 9:15～10:10

会 場：岩手県立盛岡となん支援学校視聴覚室

出席者氏名

稲邊宣彦（社会福祉法人新生会障害者支援施設新生園施設長）

近藤嘉文（ふれあいランドいわて館長）

熊谷拓也（岩手県立療育センター事務局長）

小原 賢（矢巾町立矢巾東小学校校長）

野中伸悦（矢巾町役場福祉課長）

名取泰博（藤沢自治会民生委員）

中島義信（本校 PTA 副会長）

横澤 修（本校校長）

1 開会のことば

2 校長あいさつ

一昨年度までの学校評議員会に代え、昨年度から学校運営協議会制度を運用して学校運営を進めてきました。2年目を迎える今年度についても人事異動等で新たに委員をお願いいたしました。矢巾東小学校長の小原様、ふれあいランド館長の近藤様、そして本校 PTA 副会長の中島様をお迎えし、7名の皆様には昨年同様の心温まる御支援を賜りながら、学校運営に対する御助言を頂戴したい所存でございます。

さて、本年度もまもなく2か月を経過しますが、今年度も引き続き感染症の予防対策のため、入学式や始業式の規模縮小のほか、校外学習の制限など、教育活動に様々な制約・制限がある中でのスタートとなっています。本校は、隣接する療育センターや訪問学級のある岩手医科大学など医療機関とも密接な関係があることに加え、通学生のおよそ25%にあたる32名が医療的ケアの対象児であることなどから、今月8日から5類へと移行された新型コロナ感染予防策につきましては、当面、従来のまま継続する見通しです。校内を見渡すと今日でも感染不安から登校できない児童生徒も少なからずいる状況です。

昨年度からの学校運営協議会委員の皆様からは、様々な御助言および御支援を賜り、外出に制限のある中で本物の体験を提供していただいた「地域と歩む学校」として、また「児童生徒を主人公とした指導支援の取組」につなげていただくなど非常に大きなお力を頂戴したことは、本校の貴重な財産であります。本日は皆様から忌憚のない御意見を申し上げます。

3 委員紹介(自己紹介)

4 学校職員出席者紹介(自己紹介)

5 会長・副会長選出

令和5年度役員

会 長 小原 賢（矢巾町立矢巾東小学校校長）

副会長 名取泰博（藤沢自治会民生委員）

6 学校運営協議会について（資料事前配付）

- (1) 学校運営協議会のねらいについて
- (2) 岩手県立学校における学校運営協議会の設置に関する規則

7 学校概況説明

- (1) 学校概要
- (2) 各学部の取組について
- (3) 令和4年度の外部支援と令和5年度の外部専門家活用について
- (4) 職員の研修について
- (5) その他

8 協議

(1) 学校運営計画：承認

[A委員]

出身地別児童生徒数について、「0」の地域があるがなぜか理由を知りたい。

[横澤校長]

以前在籍していた児童生徒の出身地をそのまま残していた。

[B委員]

ICTは、インターネットのことなのか、感染症対策チームのことなのか確認したい。

[岩淵副校長]

情報機器でインターネット関係も含まれている。

[B委員]

感染症対策に関して確認したい。インフルエンザと同等になり抗原検査を療育センターでは、県の予算で週2回現物を支給されている。学校では、どうなっているか。

[横澤校長]

4月以降は、抗原検査キットの配付が止まっている。始業式の朝実施したのみである。在庫があるが、必要な時に配付する予定である。後は、職員が個人で購入している現状である。

(2) 地域と関わる教育活動について

[横澤校長]

昨年度の活動については、協議した内容から地域との関係が広がってきていることから、令和5年度学校経営計画の5教育活動の基本の■共に学び、共に生きる社会の確かな担い手を育てる教育に「○地域との協働関係構築」と1つ項を起こした。

■県立医療センター、岩手医科大学附属病院、みちのく療育園メディカルセンターとの連携強化については、感染症対策のために関係機関と情報共有することができた。その中で、3月に医大の看護師長さんとの意見交換会を行い児童生徒の様子や学校について情報共有することもできた。このことから、児童生徒の安心安全のためにも医療関係との連携強化は必要である。

[岩淵副校長]

C委員の畑を借用させていただき、畑の野菜を直接見る貴重な体験をする機会をただけ感謝している。また、民生委員をされている関係から、地域の方に声を掛けていただき、本校小学部の子ども達と「昔あそび体験」を楽しく交流することができた。

矢中東小学校様から声を掛けていただき、地域の方から借りている田んぼでの田植え体験を5月25日に参加させていただくことになっている。参加する小学部の準ずる教育課程の子ども達にと

っては、本当に貴重な経験である。

ふれあいランド様には、本格的なボッチャ一式を借用し練習することができた。ボッチャ甲子園にも参加している。

矢中町福祉課様には、学校が県交通に「車椅子でバスを利用し、単独帰省している生徒が乗車する時間に、車椅子対応バスを運行してほしい。」と要望したが一度断られたことをお伝えしたところ、再度、県交通へ交渉していただき、車椅子対応バスがその時間に運行してもらえるようになり本当に感謝している。おかげさまで、生徒が単独帰省することができている。また、隣接するホテルの駐車場を避難場所として使用できるように声がけいただくなど本校の安全安心のために御尽力いただいている。

[C委員]

矢中東小学校と盛岡となん支援学校との物理的つながり「橋を架けるのはどうか」と昨年も話している。金銭的な問題等あると思うがインクルーシブ教育を海外から押されてることもあり検討しているとはどうだろうか。小さな子どものころから、障がいのある子ども達と関わる方が良いのではないかと思う。学校運営協議会として県や矢中町の教育委員会に意見を述べたら良いのではないか。

[会長]

本校のほうでも、暗渠にしたほうがよいのではないかという話が学校運営委員会でも出されていた。今年度再度話題にしてみることで、どこの管轄下かわからないので、今後、関係機関に問合せしていく必要がある。

[岩淵副校長]

畑を借りても移動に時間がかかっている現状があるので、暗渠にできるのであれば、交流しやすいしありがたい。

[会長]

日常的に交流していくためにも、通路を作っていく方向性は大切である。盛岡となん支援学校と矢中東小学校から学校運営委員会の意見として県・矢中町へ意見を上げていく。

[横澤校長]

秋の学校運営委員会に検討したい。

[会長]

保護者の意見もほしい。次回までに御意見を温めておいてほしい。

(3) その他

感染症対策を講じながら下記の行事を実施予定。本校を知っていただく機会となる取組なので、よろしければ来校の御検討をしていただきたい。(案内は、6月1日にホームページに掲載)

6月26日～30日 学校へ行こう週間 [事前に予約をお願いしたい。1日10人]

7月28日 となん公開講座

9 その他

第2回学校運営協議会の日程について

令和5年10月25日(水) 午前中を予定

[第3回：令和6年2月27日(火)]

10 閉会のことば